

日本アジア投資株式会社
2024年3月期 第1四半期
決算補足資料

決算発表日: 2023年8月14日

1. 総括	P3
2. 当四半期の実績(前年同期比較)	P4
3. 中期経営計画(数値)の進捗状況	P9
4. 中期経営計画(行動)の進捗状況	P12
5. 参考情報	P19

本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

- ✓ 当四半期の実績(対前年同期比増減)
 - 営業収益339百万円(54.5%増収)
 - 親会社株主に帰属する四半期純利益△95百万円(166百万円赤字縮小)
 - 国内で株式売却が進捗し売却高・売却益が増加、引当金の増加による損失を補う
 - スマートアグリプロジェクト(植物工場)の売上が伸長し赤字が縮小

- ✓ 中期経営計画(数値計画)の進捗状況
 - 業績見込の修正なし、利益は下期に集中し第3四半期まで赤字の計画
 - 上期に計画していた株式売却の一部は、第1四半期に前倒しで進捗

- ✓ 中期経営計画(行動計画)の進捗状況
 - IPO: 日本システムバンク(株)が名古屋証券取引所メイン市場に上場
 - ファンド: 事業承継を支援する2号ファンドが増額、ファンド総額が42億円に到達
 - 障害者グループホーム: 新規2件が竣工(埼玉県川越市、福島県いわき市)
 - 新規事業: 樹木葬プロジェクトの第1弾、東京都港区光円寺「芝愛宕の森™」が開園

2. 当四半期の実績(前年同期比較)



ハイライト

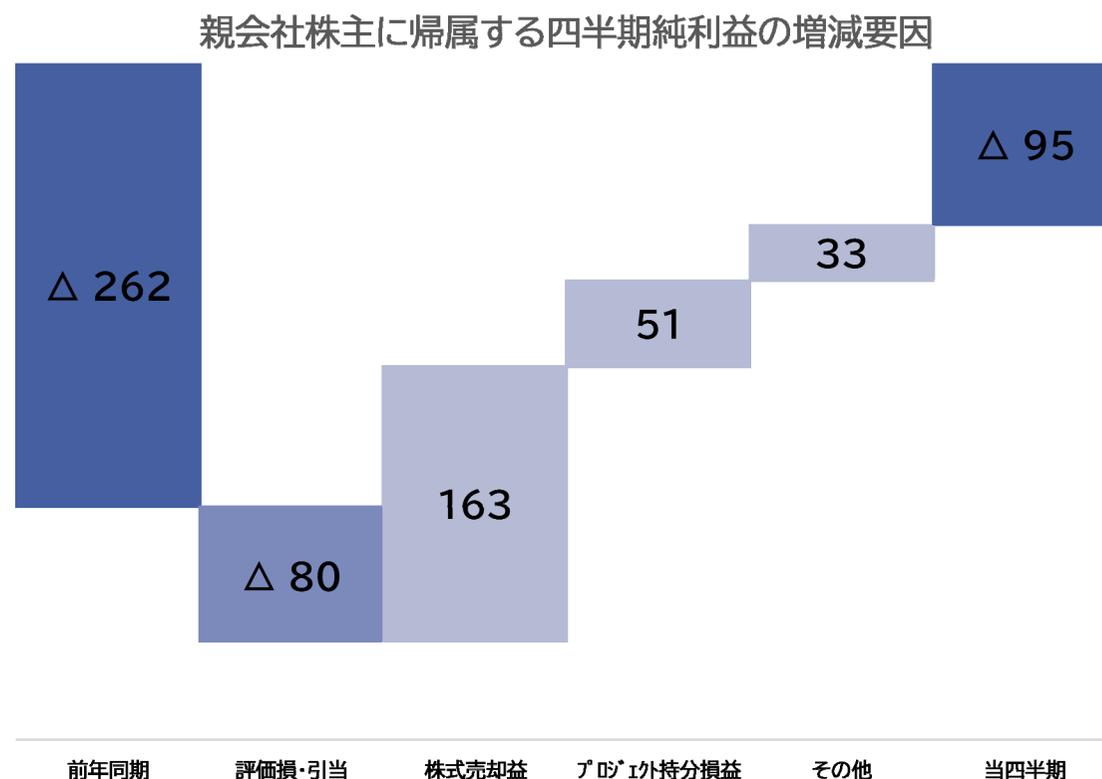
P5

営業収益・営業原価内訳

P8

2. 当四半期の実績－ハイライト P/L

(単位:百万円)	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	増減率
営業収益	219	↗ 339	54.5%
営業原価	185	↘ 149	△19.5%
営業総利益	34	190	451.7%
販管費	262	278	6.2%
営業利益	△227	△87	-
経常利益	△248	△94	-
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△262	↗ △95	-



✓ 増収要因:

株式売却高が増加:国内で利益率の高い上場株式や未上場株式の売却が進捗

✓ 赤字縮小要因:

- 営業原価が減少
- 株式の売却益の増加が引当金による損失を補う
- スマートアグリプロジェクト(植物工場)の売上が伸長し、持分損失が減少

2. 当四半期の実績－ハイライト B/S

(単位:百万円)	2023年3月期末	2024年3月期 第1四半期末	増減率	主な増減要因(単位:億円)
総資産	13,413	 12,771	△4.8%	
うち 現預金	2,464	2,378	△3.5%	返済△3、投融資△4、費用等△3、回収+10
うち プロジェクト投資(引当後) (営業投資有価証券・貸付金)	6,053	 5,815	△3.9%	投融資実行+3、分配・売却等△5
うち 戦略投資(引当後) (営業投資有価証券)	782	 812	3.9%	投資実行+0.3
うち フィナンシャル投資(引当後) (営業投資有価証券)	3,301	 2,940	△10.9%	投資実行+1、分配・売却等△2 含み益△1、引当△1
借入金	5,142	 4,825	△6.2%	返済△3
自己資本	7,518	 7,277	△3.2%	損失△1、含み益△1

- ✓ 総資産は投資回収により減少、プロジェクト投資資産・フィナンシャル投資資産で投資回収が投資実行を上回る
- ✓ 借入金は返済により減少、将来の成長に向けた投資資金を確保した上で返済する方針
- ✓ 自己資本は損失計上と含み益減少に伴い減少

2. 当四半期の実績－ハイライト C/F

(単位:百万円)	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期
営業活動によるCF	△265	↑ 349
投資活動によるCF	△0	1
財務活動によるCF	△309	△316
CF増減額	△561	36
期末残高	1,836	1,799

- ✓ 営業CF: 投資回収の進捗に伴い、黒字転換
- ✓ 財務CF: 借入金の返済による支出額が発生

2. 当四半期の実績－営業収益・営業原価 内訳

(単位:百万円)	合計		プライベートエクイティ投資		プロジェクト投資	
	2023年3期 第1四半期	2024年3期 第1四半期	2023年3期 第1四半期	2024年3期 第1四半期	2023年3期 第1四半期	2024年3期 第1四半期
営業収益	219	339	207	↑ 318	12	21
管理運営報酬等	35	45	34	43	1	1
営業投資有価証券売却高	171	266	171	↑ 266	-	0
組合持分利益・イカゲイン等	1	13	0	3	1	9
その他営業収益	11	14	1	4	9	9
営業原価	185	149	124	130	60	18
営業投資有価証券売却原価	113	47	113	↓ 46	-	0
営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	1	80	1	↑ 80	-	-
組合持分損失等	66	17	8	2	58	↓ 15
その他営業原価	3	3	0	0	2	2
営業総利益	34	190	82	↑ 187	△48	↑ 2

- ✓ プライベートエクイティ投資:増収・増益
 - 営業収益(売却高):国内で上場株式と未上場株式の売却が進捗し増加
 - 営業原価(売却原価):利益率の高い株式が売却されたため減少
 - 営業原価(評価損・引当金):回収見込額の低下した投資先に対して引当金が発生
- ✓ プロジェクト投資:増収・黒字化
 - 営業原価(組合持分損失等):植物工場で生産量の増加に伴い売上が伸長し、持分損失が縮小

3. 中期経営計画(数値)の進捗状況

当四半期の進捗状況 P10

将来情報についてのご注意 P11

3. 中期経営計画(数値)の進捗状況－2024年3月期の業績見込値



単位:百万円	2024年3月期 第1四半期 実績	上期見込 (2023年5月発表)	進捗率	通期見込 (2023年5月発表)	進捗率
営業収益	339	525	64.7%	2,300	14.8%
営業原価	149	325	45.9%	1,000	14.9%
営業総利益	190	200	95.3%	1,300	14.7%
販管費	278	570	48.9%	1,100	25.3%
営業利益	△87	△370	-	200	-
経常利益	△94	△410	-	120	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	△95	△410	-	120	-

- ✓ 上期に計画していた株式売却の一部は、第1四半期に前倒しで進捗
- ✓ 利益は下期に集中し、第3四半期までは赤字の見込み
- ✓ 下期に、比較的投資金額の多額な未上場株式の売却益と、プロジェクトの売却益を見込む

- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。
- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の確度は低いものの、参考情報として開示しております。
- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

4. 中期経営計画(行動)の進捗状況

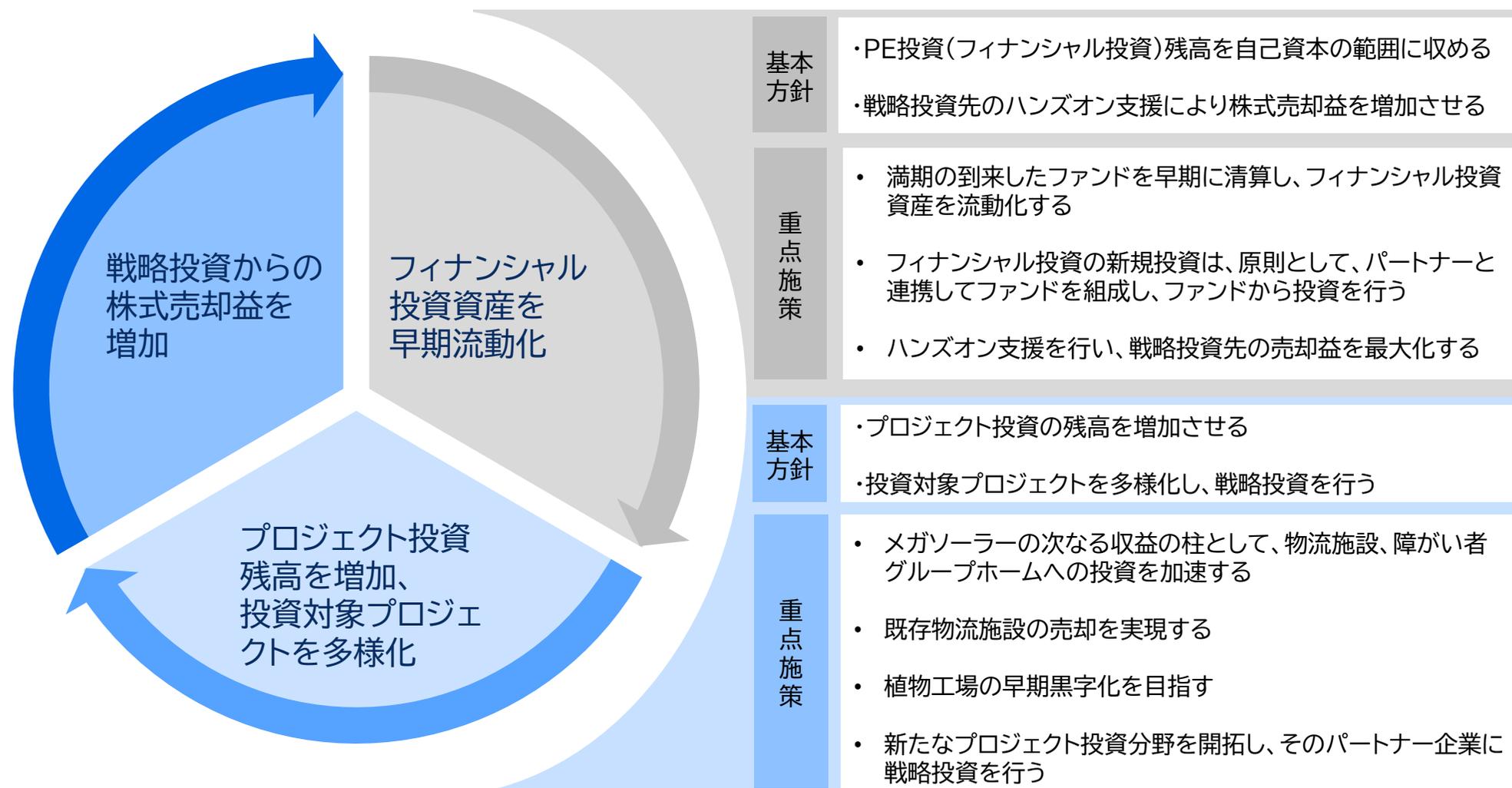
事業方針 P13

当四半期の進捗状況 P14

4. 中期経営計画(行動)の進捗状況－事業方針

事業方針

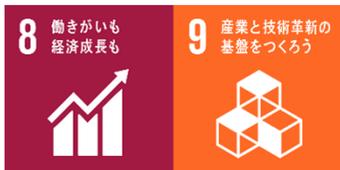
- ✓ 既存のプライベートエクイティ(PE)投資(フィナンシャル投資)資産を売却し、利益・資金を確保する
- ✓ 新たな投資方針に基づき、プロジェクト投資の残高を増加させる
- ✓ プロジェクト投資での協業を通じたハンズオン型の投資スタイルを確立し、戦略投資からの株式売却益を増加させる



4. 中期経営計画(行動)の進捗状況－当四半期の進捗状況

	2022年3月期～2024年3月期 (3年間)の行動計画	2024年3月期第1四半期 (3か月)の進捗状況
プライベート エクイティ投資	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 既存資産を流動化し資産の入替を完了 ✓ 3本の新規ファンドを組成 ✓ 既存戦略投資先のExit支援、新規分野で戦略投資の実行 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 投資先企業の日本システムバンク(株)がIPO ✓ 事業承継を支援する第2号ファンドを5億円増額
ヘルスケア (障がい者グループホーム)	大手銀行、リース会社とのファンド組成により50棟に投資を実行	自社開発案件2件が竣工、竣工拠点が累計12件まで拡大
新規事業開発	既存投資テーマの周辺分野、及びコロナ禍に対応した事業テーマから将来の収益の柱となる新規事業を開発	樹木葬プロジェクトの第1号案件が、東京都港区光円寺で開園・販売開始

4. 中期経営計画(行動)の進捗状況－当四半期の進捗状況



日本システムバンク(株)が名証メイン市場にIPO

日本システムバンク

証券コード	5530
上場市場	名古屋証券取引所メイン市場
上場日	2023年4月14日
事業内容	コインパーキングの運営、駐車場機器の販売・保守
代表者	代表取締役社長 野坂信嘉
本社	福井本社:福井県福井市中央 3-5-21 東京本社:東京都渋谷区渋谷 1-7-5-506
URL	https://www.syb.co.jp/



事業承継支援の第2号ファンドが増額、総額42億円に到達

名称	サクセッション2号投資事業有限責任組合
設立日	2022年8月16日
無限責任組合員	AJキャピタル(株) (当社と(株)あおぞら銀行が50%ずつ出資する合弁会社)
ファンド総額	4,201百万円 (2023年6月 増額時点)
有限責任組合員(50音順)	あおぞら銀行、阿波銀行、愛媛銀行、鹿児島銀行、岐阜商工信用組合、京葉銀行、 荘内銀行、東和銀行、鳥取銀行、日本アジア投資、北都銀行、ゆうちょ銀行
主な投資対象	日本国内の事業承継問題を抱える中小企業

- ✓ 当社とあおぞら銀行の合弁会社AJキャピタルが運営する、国内中小企業の事業承継支援ファンド
- ✓ 地域金融機関を出資者に迎え、22年12月に9億円、23年2月に10億円、23年6月に5億円増額
- ✓ ファイナルクローズ時のファンド総額は50億円程度を予定
- ✓ 主な投資対象はスモールキャップゾーン(企業価値で 10 億円未満)
- ✓ 全国の地域金融機関と連携して、取引先中小企業の円滑な事業承継を目指す

4. 中期経営計画(行動)の進捗状況－当四半期の進捗状況

11 住み続けられるまちづくりを



障がい者グループホーム2件が竣工、累計竣工拠点は12件に拡大



▶ ソーシャルインクルーホーム
川越今福(埼玉県 川越市)
2023年4月 竣工
2023年8月 営業開始予定

▶ ソーシャルインクルーホーム
いわき鹿島町(福島県 いわき市)
2023年4月 竣工
2023年8月 営業開始予定



パートナー企業：
ソーシャルインクルー(株)

11 住み続けられる
まちづくりを



東京都港区光円寺の樹木葬「芝愛宕の森™」が開園



366

サンロクロク

パートナー企業：
株366

- ✓ 東京都港区虎ノ門神谷町駅近くに、都会の喧騒から離れた心安らぐ樹木葬庭園が開園
- ✓ URL: <https://366jumokuso.jp/jiin/shibaatagonomori/>

再生可能エネルギープロジェクト一覧	P20
プロジェクト投資 案件一覧	P21
戦略投資先企業一覧	P25
アジアネットワーク	P26
主要データの推移	P27
営業収益・営業原価 内訳	P29
投資領域	P30
収益構造	P31
JAICの強み	P33
SDGsへの取り組み	P34
会社概要	P35

再生可能エネルギープロジェクト一覧 (2023年6月末)



メガソーラープロジェクト

売電中 10件(12発電所) 24.7MW

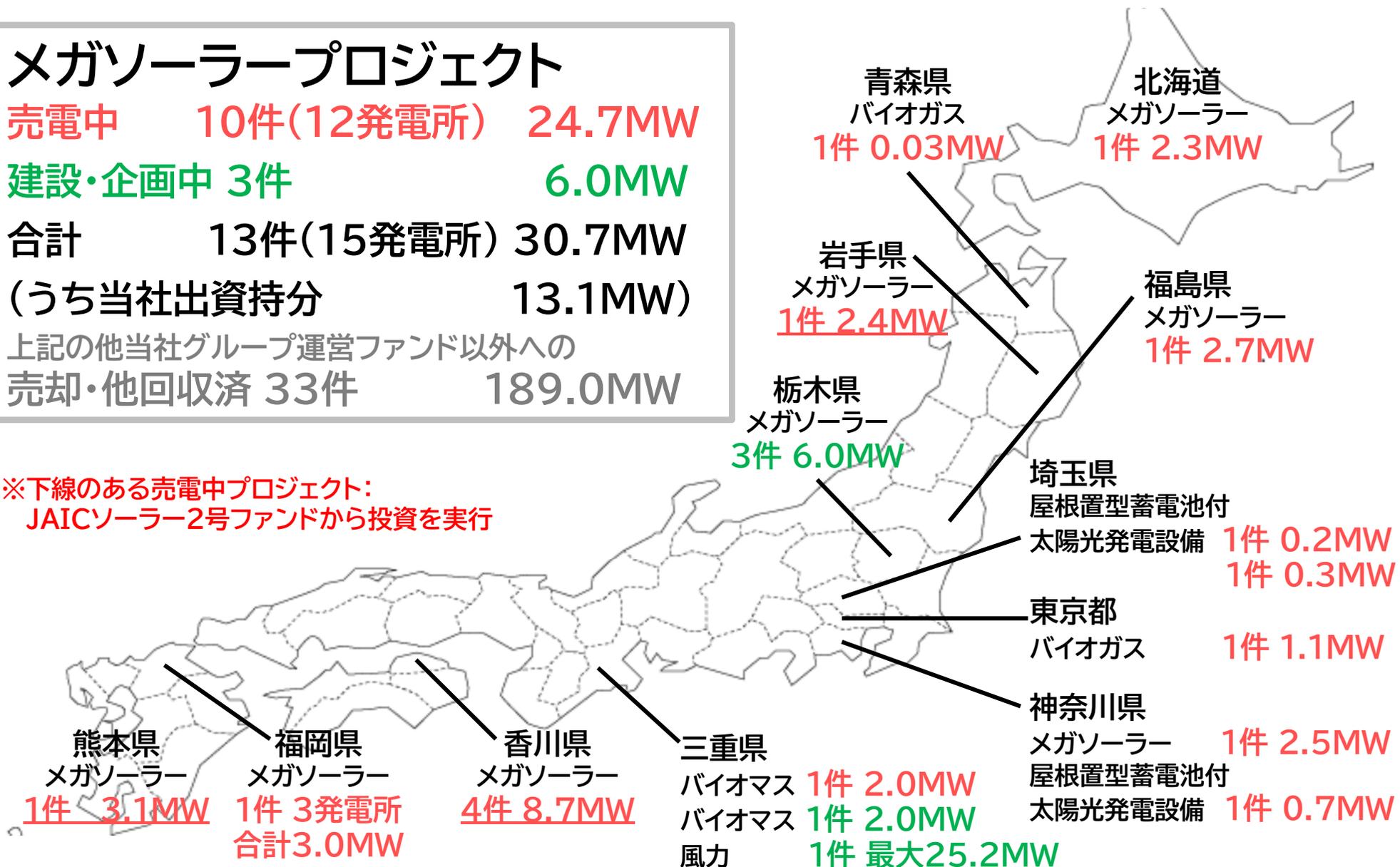
建設・企画中 3件 6.0MW

合計 13件(15発電所) 30.7MW

(うち当社出資持分 13.1MW)

上記の他当社グループ運営ファンド以外への
売却・他回収済 33件 189.0MW

※下線のある売電中プロジェクト:
JAICソーラー2号ファンドから投資を実行



※各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

プロジェクト投資 案件一覧-1 (2023年6月末)



プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)
メガソーラー発電	1	熊本県球磨郡錦町(※)	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40
	2	野間池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36
	3	御田神辺池ソーラー発電所(※)	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32
	4	岩手一関ソーラーパーク(※)	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36
	5	中王田池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36
	6	東王田池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2018年7月売電開始)	36
	7	広野ソーラーパーク	2.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40
	8	厚岸ルークシュポール太陽光発電所	2.3	売電中 (2020年5月売電開始)	40
	9	赤田太陽光発電所	2.5	売電中 (2023年3月売電開始)	32
	10	うきは市しらかべ太陽光発電所、 うきは市みずのさと太陽光発電所、 うきは市みのうアルプス太陽光発電所	合計3.0	売電中 (2020年3月～5月売電開始)	36
	11	栃木県	2.0	企画中	36
	12	栃木県	2.0	企画中	32
	13	栃木県	2.0	企画中	32
合計 30.7 MW (うち当社出資持分 13.1 MW)					

※：JAICソーラー2号投資事業有限責任組合から投資しているプロジェクト。

プロジェクト投資 案件一覧-2 (2023年6月末)

プロジェクト種類		所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT(税抜、円)
屋根置型蓄電池付太陽光発電設備	1	埼玉県越谷市	0.2	売電中(2022年12月売電開始)	—
	2	埼玉県日高市	0.3	売電中(2023年2月売電開始)	—
	3	神奈川県厚木市	0.7	売電中(2023年2月売電開始)	—
バイオマス発電	1	三重県松阪市	2.0	売電中 (2018年1月売電開始)	—
	2	三重県松阪市	2.0	企画中	—
バイオガス発電	1	東京都羽村市	1.1	売電中 (2021年3月売電開始)	39
	2			バイオガスを生成する食品リサイクル会社 (バイオガス発電所オペレーター)	—
	3	青森県上北郡東北町	0.03	売電中 (2018年11月売電開始)	39
風力発電		三重県	最大25.2	企画中	22

プロジェクト投資 案件一覧-3 (2023年6月末)

プロジェクト種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
高齢者施設	1	東京都江東区東雲	8階建複合施設 定員100名	営業中(2023年4月営業開始)
障がい者グループホーム	1	静岡県浜松市	入居者用20~21室、短期入所用2~3室	営業中(2020年8月営業開始)
	2	広島県広島市	同上	営業中(2020年8月営業開始)
	3	栃木県宇都宮市	同上	営業中(2021年9月営業開始)
	4	埼玉県加須市	同上	営業中(2023年5月営業開始)
	5	栃木県佐野市	同上	営業中(2022年9月営業開始)
	6	茨城県古河市	同上	営業中(2022年10月営業開始)
	7	群馬県館林市	同上	営業中(2023年6月営業開始)
	8	香川県高松市	同上	営業中(2022年9月営業開始)
	9	群馬県太田市	同上	営業中(2022年10月営業開始)
	10	群馬県桐生市	同上	営業中(2023年3月営業開始)
	11	埼玉県川越市	同上	営業準備中(2023年8月開始予定)
	12	埼玉県鴻巣市	同上	建設中
	13	福島県いわき市	同上	営業準備中(2023年8月開始予定)
	14	香川県東かがわ市	同上	建設中
	15	香川県高松市	同上	建設中
	16	熊本県熊本市	同上	建設中

プロジェクト投資 案件一覧-4 (2023年6月末)

プロジェクト種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
植物工場		兵庫県丹波篠山市	年間生産量 合計約470t	1号工場 2019年3月稼働 2号工場 2022年8月全面稼働
物流施設	1	神奈川県厚木市	延床面積 10,370㎡、地上3階建	営業準備中(2022年10月竣工)
	2	神奈川県海老名市	未定	建設・企画中
	3	東京都あきる野市	延床面積 25,804㎡(予定)、地上4階建	建設・企画中
	4	非公開	非公開	建設・企画中
	5	非公開	非公開	建設・企画中

プロジェクト種類		所在地	内容	プロジェクト進捗状況
その他	1	神奈川県藤沢市	元工場をリノベーションした創作活動向けシェア施設	営業中(2023年4月営業開始)
	2	—	電動アシスト自転車のサブスクリプションプロジェクト	2022年8月初回投資実行
	3	非公開	非公開	非公開
	4	非公開	非公開	非公開
	5	東京都港区虎ノ門	樹木葬プロジェクト 光円寺「芝愛宕の森TM」	営業中(2023年5月開園・販売開始)
	6	韓国	進撃の巨人FINAL in SEOUL	開催中(2023年7月15日から期間3か月)

戦略投資先企業一覧



リニューアブル・ジャパン株式会社

メガソーラープロジェクトの
パートナー企業

2021年12月22日 東証マザーズ 上場



スマートソーラー株式会社

メガソーラープロジェクトの
パートナー企業



ソーシャルインクルー株式会社

障がい者グループホームプロジェクト
のパートナー企業

2022年11月 M&Aにより売却



株式会社森久エンジニアリング
株式会社モーベルファーム
(株)森久エンジニアリング子会社)

スマートアグリ(野菜)プロジェクトの
パートナー企業



MD-Farm株式会社

スマートアグリ(イチゴ)プロジェクトの
パートナー企業



KICホールディングス株式会社

ディストリビューションセンター
(物流施設)投資のパートナー企業



株式会社366

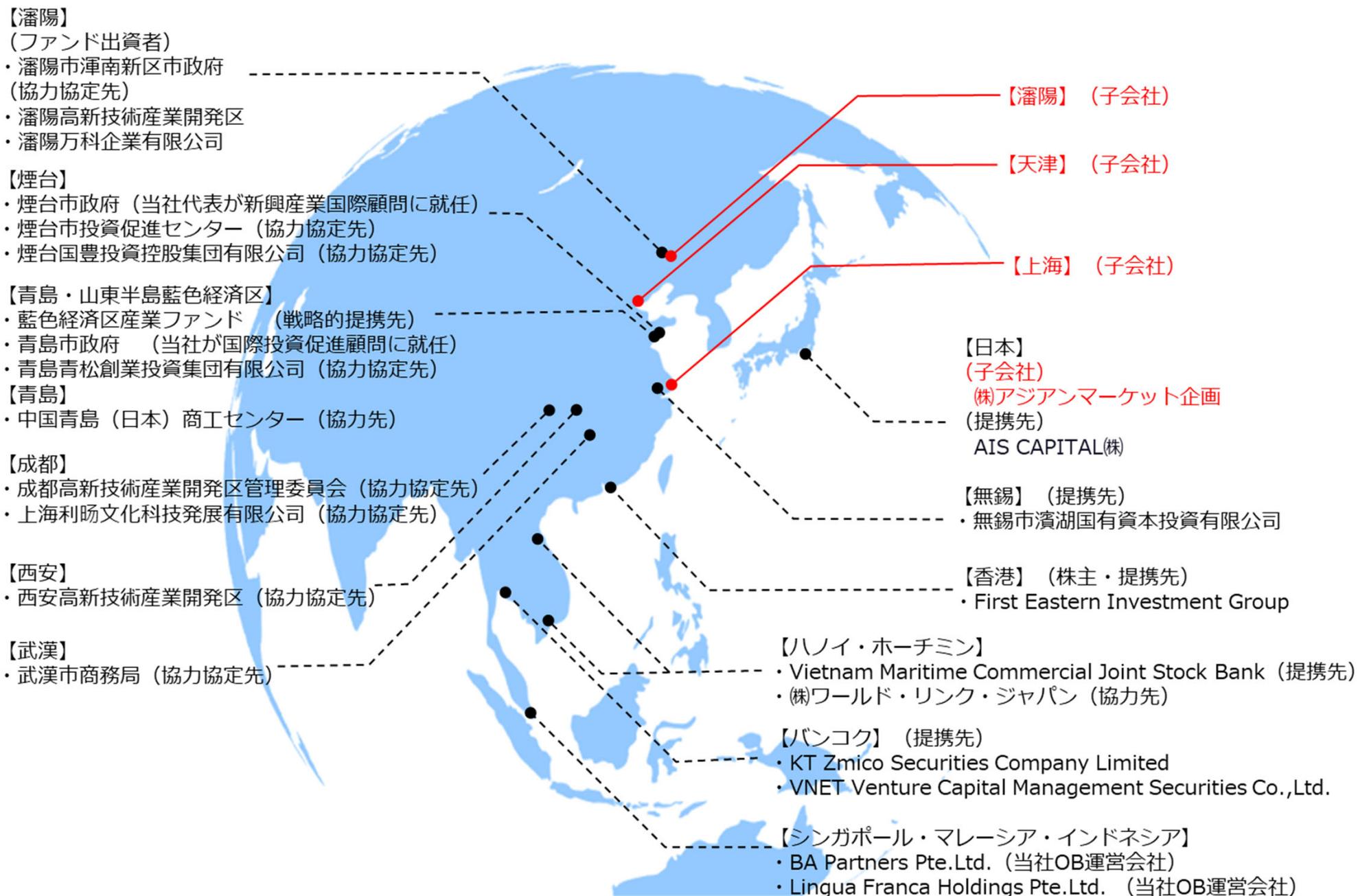
永代供養型樹木葬プロジェクトの
パートナー企業



サイクループ株式会社

電動アシスト自転車のサブスクリプション
プロジェクトのパートナー企業

アジアネットワーク



主要データの推移 ①

・ファンドの状況、投資の状況

(単位:百万円)	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	23年3月期 第1四半期	24年3月期 第1四半期
ファンド設立・増加額	2,000	1,359	151	1,001	3,701	-	500
ファンド運用残高 ※1	16,494	17,390	16,450	16,463	15,850	16,952	16,397
うち 当社グループ出資額 ※1	5,344	5,163	5,434	4,953	3,389	5,113	3,404
投資/融資実行額 総額 ※2	3,749	3,374	1,767	3,420	3,561	93	493
投資/融資残高 総額 ※2	13,951	15,101	12,855	13,784	14,133	13,128	13,252
投資/融資実行額 プロジェクト投資※2	3,612	2,150	1,445	1,938	2,152	81	319
投資/融資残高 プロジェクト投資※2	5,514	6,696	6,088	6,344	7,123	5,879	6,854
投資/融資実行額 プライベートエクイティ投資※2	136	1,224	322	1,482	1,408	11	173
投資/融資残高 プライベートエクイティ投資※2	8,437	8,405	6,767	7,440	7,010	7,248	6,398

※1 投資資産を保有した状態で清算期間に入るファンドが増加したため、2021年3月期より、清算期間中のファンドを含めています。

※2 当社グループによるプロジェクトに対する融資実行が増加したため、2021年3月期より、プロジェクトに対する融資（破産更生債権等を除く）を含めています。

主要データの推移 ②

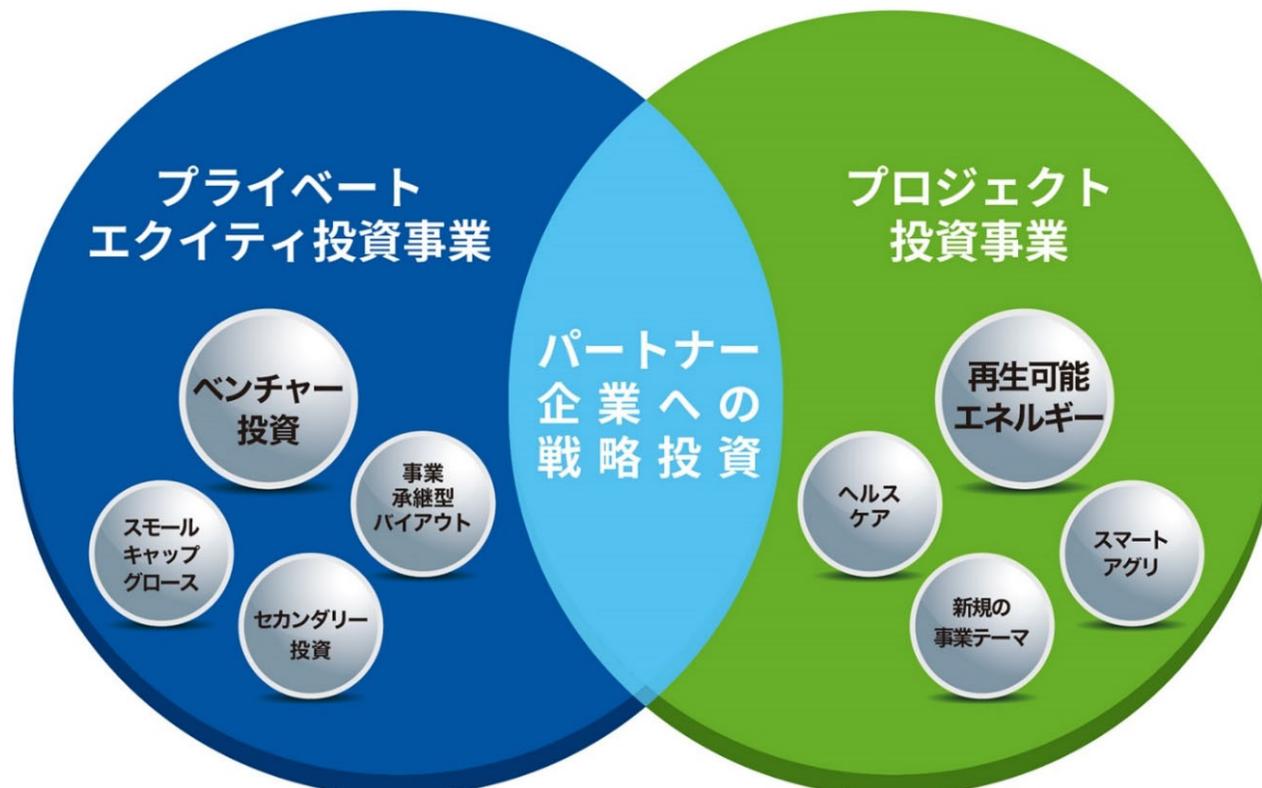
・業績、財務状況

(単位:百万円)	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	23年3月期 第1四半期	24年3月期 第1四半期
業績							
営業収益	2,475	2,760	3,089	2,409	3,017	219	339
営業総利益	1,286	1,359	1,301	1,276	961	34	190
販売費及び一般管理費	1,109	1,094	1,086	1,189	1,147	262	278
営業利益	177	265	214	86	△185	△227	△87
経常利益	83	140	173	61	△224	△248	△94
親会社株主に帰属する当期純利益	578	302	144	49	△269	△262	△95
財務状況							
現預金	5,564	3,920	3,699	2,740	2,464	2,217	2,378
引当後 営業投資有価証券・貸付金(プロジェクト投資)	5,514	5,437	5,583	6,781	6,053	6,801	5,815
引当後 営業投資有価証券(戦略投資投資)	373	1,005	1,155	1,783	782	1,622	812
引当後 営業投資有価証券(フィナンシャル投資)	4,765	4,282	3,111	3,029	3,301	3,016	2,940
借入金	9,784	8,166	6,950	5,943	5,142	5,633	4,825
自己資本	6,840	7,223	7,338	7,779	7,518	7,515	7,277
総資産	17,305	15,800	14,657	14,972	13,413	14,294	12,771

営業収益・営業原価 内訳



(単位:百万円)		19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	23年3月期 第1四半期	24年3月期 第1四半期	増減率(%)
1.	投資事業組合等管理業務								
	営業収益	241	199	169	154	134	35	45	27.4%
	営業原価	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業総利益	241	199	169	154	134	35	45	27.4%
2.	投資業務								
	営業投資有価証券売却高	1,746	2,349	2,221	1,573	2,057	171	266	55.9%
	組合持分利益・インカムゲイン等	429	172	648	631	781	1	13	719.6%
	営業収益	2,176	2,521	2,870	2,204	2,839	172	280	62.0%
	営業投資有価証券売却原価	554	965	1,249	810	1,311	113	47	△58.6%
	営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	579	245	194	145	304	1	80	5472.9%
	組合持分損失等	49	184	336	167	426	66	17	△73.4%
	営業原価	1,182	1,395	1,780	1,123	2,043	182	145	△19.9%
	営業総利益	993	1,125	1,090	1,081	796	△9	134	-
3.	その他								
	営業収益	57	40	49	50	44	11	14	25.5%
	営業原価	6	5	7	10	12	3	3	4.9%
	営業総利益	51	34	41	40	31	8	10	33.6%
合計									
	連結営業収益	2,475	2,760	3,089	2,409	3,017	219	339	54.5%
	連結営業原価	1,188	1,401	1,788	1,133	2,056	185	149	△19.5%
	連結営業総利益	1,286	1,359	1,301	1,276	961	34	190	451.7%



プライベートエクイティ投資

- 成長性の高いベンチャー企業やスモールキャップ企業、事業承継問題を抱える中小・中堅企業に対し成長資金を投資
- 投資後は、当社が日本とアジアに有するリソースを活用して、企業の成長戦略を支援

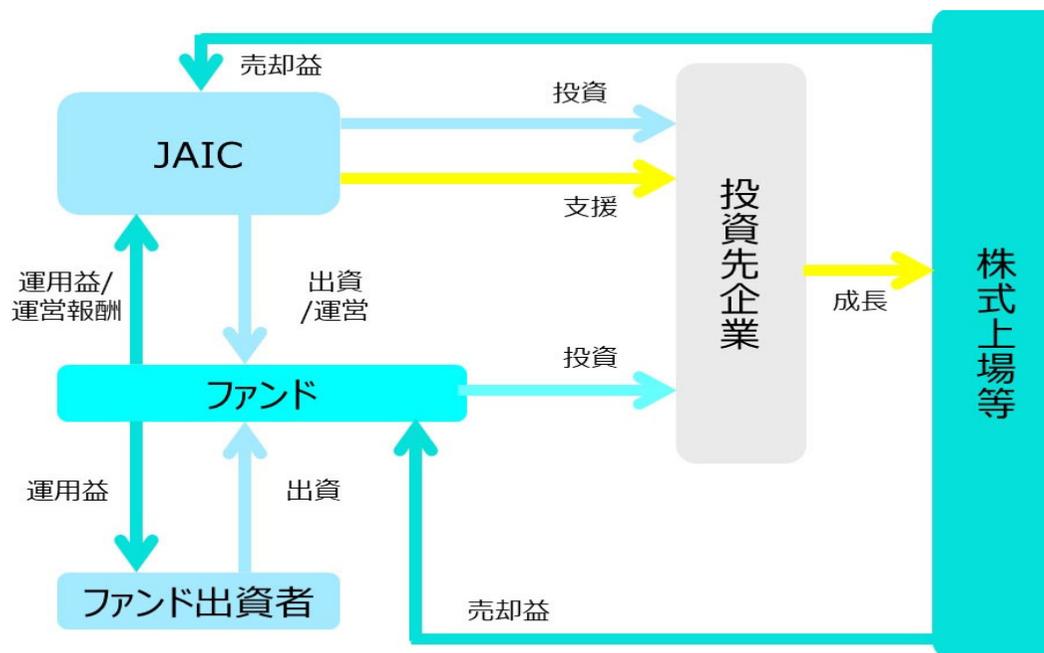
戦略投資

- 当社の注力する事業テーマに関連する企業に、戦略的な投資
- 投資後は、当社が事業上のパートナーとなり、事業での協業を通じて、資金支援や営業支援を実施

プロジェクト投資

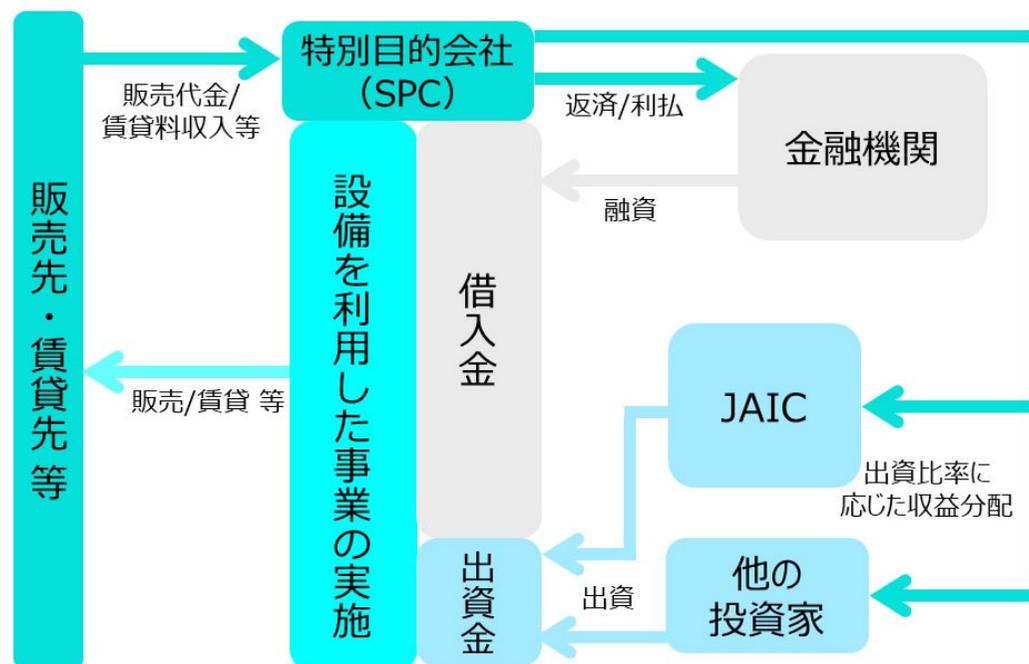
- メガソーラーなどの再生可能エネルギー、介護施設などのヘルスケア、植物工場などのスマートアグリ、物流施設、その他多様なプロジェクトに投資
- 原則として、プロジェクトファイナンスによる融資資金を活用し投資の採算性を追求

収益構造 - プライベートエクイティ投資



- ✓ 日本を含むアジア地域におけるベンチャー企業や中堅・中小企業等を中心とした有望企業へ投資し、育成・支援を通じて投資先企業の企業価値を高め、株式の売却益を得ることを目的とした投資活動の過程で得る企業のニーズを基にM&Aの仲介業務も行う
- ✓ プロジェクト投資のパートナー企業に対する「戦略投資」と、それ以外の「フィナンシャル投資」の2種類
- ✓ 戦略投資を行った企業には、株主としての支援だけではなく、パートナーとして共にプロジェクトを運営し、その成長を支援
- ✓ フィナンシャル投資の特徴は、長年の経験により蓄積された上場支援に加え、広いネットワークを活用した海外展開支援や営業支援を行う
そのために、中国の政府系機関やアジア諸国のパートナー企業と業務提携などを行い、アジアのネットワークを構築

収益構造-プロジェクト投資



- ✓ 発電所、工場、住居施設、倉庫といった設備を保有するSPC(特別目的会社)に対して投資を行い、これらの設備を建設し、完成後の設備の運営により生み出される利益から投資に対する分配を受領
完成後に設備を売却して利益を得る場合もある
- ✓ 再生可能エネルギー、ヘルスケア(高齢者向け施設、障がい者グループホーム)、スマートアグリ(植物工場)、ディストリビューションセンター(物流施設)等のプロジェクトへ投資
- ✓ プロジェクトの建設・運営にかかる資金の多くを金融機関からの負債性資金で調達することで、少額の投資資金で高い採算性を追及
- ✓ 多様な分野のプロジェクトに機動的に投資を行うために、プロジェクトの企画や開発に精通したベンチャー企業とパートナーシップを組んで取り組む

JAICの強み

投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握

最先端の
業界情報収集力

アジアでの歴史

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有する

JAIC

ファイナンス
スキーム構築力

ベンチャー企業との
ネットワーク

- 国内外で3,300億円の累計投資実績
- プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築

- 国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築
- そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用

SDGsへの取り組み

SDGs投資会社である事を当社のコアバリューとし、
経営理念に基づきSDGsを強く意識した投資活動を徹底する

Environment

再生可能
エネルギー

プロジェクトのパートナー企業に投資をするとともに、プロジェクトへの投資を通じて環境負荷の軽減に貢献



Social

スマート
アグリ
(植物工場)

プロジェクトへの投資を通じて、農業人口の減少や高齢化による諸問題や気候変動、食の安全に対するソリューションを提供



ディストリビューション
センター
(物流施設)

プロジェクトへの投資を通じて、生産性の高い社会の実現や地域産業の活性化と雇用の創出に貢献



高齢者
施設

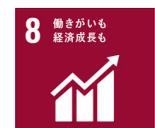
障がい者
グループホーム

プロジェクトへの投資を通じて、包摂的かつ安全でより住みやすい社会の実現に向けたソリューションを提供



プライベート
イクイティ投資

投資先企業が行うイノベーションや既存事業の再活性化により、生産性向上や労働力の補完を促進
中小企業の事業承継を支援するファンドの運営により、包摂的かつ持続可能な産業化を促進



Governance

経営体制

取締役5名中2名が独立社外取締役/任意設定機関「評価委員」により業務執行取締役の人事・報酬の評価を実施/取締役会の実効性の自己評価の実施と結果の開示/実効性のある監査等委員会監査や内部監査の実施

会社概要(2023年6月末現在)



会社名	日本アジア投資株式会社(略称)JAIC
本社所在地	東京都千代田区九段北3丁目2番4号
設立年月日	1981年7月10日
資本金	5,426百万円
株式上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード:8518)
従業員数	単体21名/連結42名
事業領域	プライベートエクイティ投資、プロジェクト投資
役員	代表取締役社長 下村 哲朗 取締役(常務執行役員) 八田 正史 取締役 大森 和徳 : 監査等委員長 取締役(独立社外) 片桐 春美 : 監査等委員 取締役(独立社外) 工藤 研 : 監査等委員

- ✓ この資料（以下「本資料」といいます。）は、日本アジア投資株式会社（以下「JAIC」といいます。）の連結決算情報についての情報提供のみを目的としており、有価証券の取得その他の投資勧誘をするものではありません。
- ✓ 本資料に記載された将来に関する事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。
- ✓ 本資料に含まれる情報は全て、JAICが著作権その他一切の権利を有しており、JAICの許可無く複製したり転用することは禁じられております。
- ✓ 本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。



<https://www.jaic-vc.co.jp>

お問合せ先:管理グループ 岸本・丸山

ir@jaic-vc.co.jp